

沖縄作戦に於ける野戦砲兵第42連隊史実資料

昭和22年3月25日

第32軍残務整理部

1. 部隊の履歴（沖縄進駐までの履歴）

(1) 部隊名 第24師団 野戦砲兵第42連隊（満州第795部隊）

(2) 所在地 満州東安省西東安

(3) 創立 昭和14年10月6日

昭和19年

3月20日 第3大隊動員下令 サイパン方面に出動

7月 6日 野砲兵第42連隊動員下令

17日 西東安出発

21日 函門經由釜山出帆

27日 下関到着

8月 1日 門司港出帆（曉空丸）

5日 沖縄県那覇港到着

2. 部隊の作戦開始時の編成（昭和20年3月現在）

連隊本部

連隊長	西沢勇雄大佐	副官	沢山大尉
指揮班長	山崎少佐	兵器係	能木少尉
連絡係	大益大尉	無線係	福田少尉
主計	野々上大尉	獣医官	岩崎中尉
通信係	小紙中尉		
軍医	矢野大尉		

指揮班 観測、通信、し重、 総員約 80名

連隊団列 長 新増大尉 総員約 140名

第1大隊本部

大隊長	藤井少佐		
指揮班 長	笠原中尉	総員約	80名

大隊段列	長	村山中尉	総員約	80名
第1中隊	長	相田大尉	総員約	140名
第2中隊	長	志田大尉	総員約	140名
第3中隊	長	北林大尉	総員約	140名

第2大隊本部

大隊長		安達大尉		
指揮班	長	春山中尉	総員約	80名
大隊段列	長	山口中尉	総員約	80名
第4中隊	長	和田中尉	総員約	140名
第5中隊	長	桑原大尉	総員約	140名
第6中隊	長	水上中尉	総員約	140名

第3大隊本部 (元4大隊)

大隊長		作間少佐		
指揮班	長	能登中尉	総員約	100名
大隊段列	長	桑田中尉	総員約	100名
第7中隊	長	笠原大尉	総員約	160名
第9中隊	長	土門大尉	総員約	160名

海軍砲台大隊

大隊長		仁位少佐		
指揮班	長	村永中尉	総員約	80名

第7砲台

第1中隊	長	戸成海軍少尉		
第2中隊	長	橋本海軍少尉	総員合計	約100名

第8砲台	長	安田中尉	総員	約80名
------	---	------	----	------

3. 指揮隷属・配属関係

(1) 作戦開始前 第32軍第24師団に隷属

第4中隊は3474(22i)に配属

第1中隊は3475(32i)に配属

(2) 作戦開始後 同左、但し第2大隊(5, 6中隊)は4月11日より4月25日まで軍砲兵司令部に配属せらる

4. 戦闘経過の概要

4月11日 第2大隊(除く4中隊)首里の線に転進62Dに協力 大隊本部観測所は弁ヶ嶽、5, 6中隊放列陣地 運玉森東(西?)南方凹地

4月25日 連隊主力(連本、1大、3大、4大)首里の線に転進

連本観測所 識名 4月29日首里北方砲兵山に移動

2, 3大隊観測所 弁ヶ嶽

1大隊観測所 運玉森

4大隊観測所 島尻平良

1, 3大隊放列陣地は南風原、大名付近

2大隊は前に同じ

4大隊放列陣地は島尻平良

5月10日 5中隊陣地新川に移動

5月23日 連隊本部首里城跡に移動す

5月29日 連隊主力島尻地区へ撤退す

連隊本部、第1大隊本部、第4大隊本部新垣に陣地を占領

第1大隊本部放列陣地新垣付近

第2大隊本部与座嶽放列陣地与座嶽南方台地

第3大隊本部及び観測所真壁

第4大隊火砲全部破壊

6月20日 連隊内の連絡本日を以つて途絶せり

6月22日 連隊本部のみ更に真壁に移動

最後の詳細なる状況不明なるも概ね右陣地に於て最後まで戦闘を続

行せるも第2大隊は6月19日火砲全部破壊せられ戦闘力を失う他の大隊は6月22日までに大体戦闘力を失う